【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公表番号】特表2005-515111(P2005-515111A)
【公表日】平成17年5月26日(2005.5.26)
【年通号数】公開・登録公報2005-020
【出願番号】特願2003-561906(P2003-561906)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｊ　7/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｊ　7/20

【手続補正書】
【提出日】平成17年12月9日(2005.12.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
後部格納部（２）内に折畳み収納可能なルーフ及び案内手段が設けられているとともに、前記案内手段は、前記パネルが前記自動車のシャーシ部材（１）と前記格納部の蓋部（３）前方端の間にほぼ水平に延伸する第１の閉鎖位置から、前記パネルがほぼ垂直に配置されることによって前記ルーフが前記シャーシ部材（１）から前記前方端の間を通過するためのスペースを残す格納位置まで前記パネルを通過させることを可能にする、自動車用リアパネルであって、長手方向における前部部材（４）と長手方向における後部部材（５）とを備えること、前記案内手段は前記長手方向における前部部材（４）及び長手方向における後部部材（５）を、一方の部材を他方に重ね合わせて互いに対してほぼ平行に配置するため及び、前記パネルが前記シャーシ（１）と前記ルーフの後部部材（１４）の後方端の間にほぼ水平に配置される第２の閉鎖位置へと前記部材（４，５）を配置するために設けられること、及び、前記長手方向における前部部材（４）の前記後方端は前記長手方向における後部部材（５）の前方端と重なることを特徴とする自動車用リアパネル。
【請求項２】
前記パネルの前記長手方向における前部部材（４）は前記自動車の前記シャーシ（１）と一体化された横方向シャフト（７）の周りを回動すべく設けられていることを特徴とする請求項１に記載のパネル。
【請求項３】
前記パネルの長手方向における後部部材（５）は２つのリンク（１０，１１）の一端にて２つの横方向シャフトに連接され、前記リンクの他端はそれぞれ前記自動車のシャーシ（１）に、横方向シャフトの周りに連接されることを特徴とする、請求項１又は２に記載のパネル。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか一項に記載のリアパネルを供えることを特徴とする自動車。